

平成 13 年 3 月 31 日

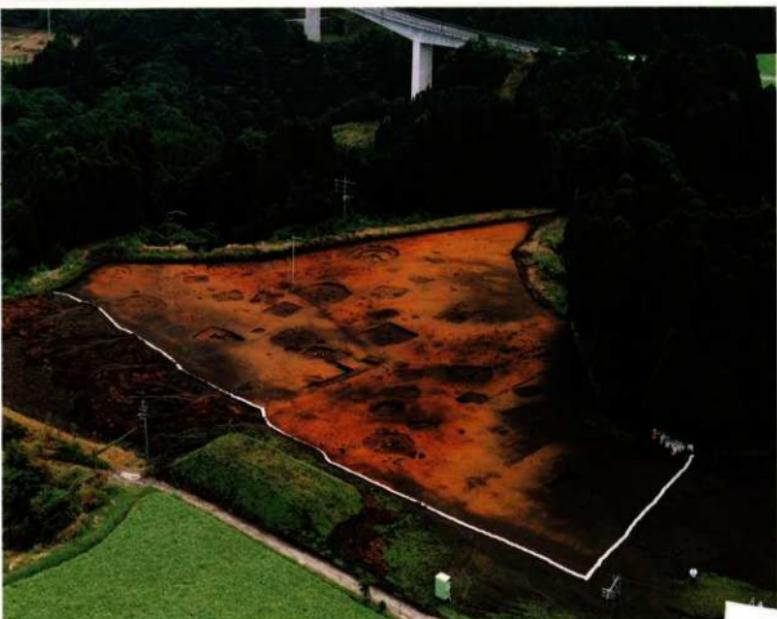
編集・発行 宮崎県宮崎郡田野町

田野町教育委員会

文化財調査事務所

TEL 0985-86-5160

ズクノ山第1遺跡

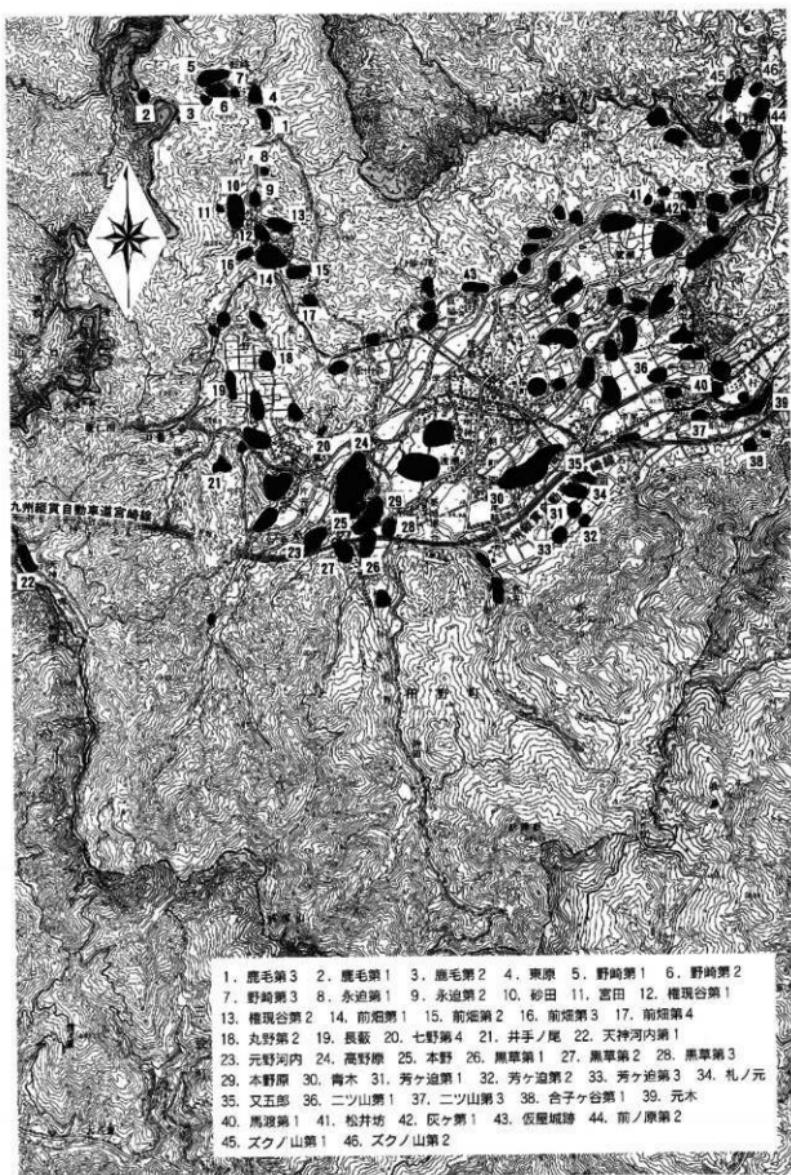


鹿村野地区遺跡の調査

田野町は宮崎市の西方約 20 km に位置します。周囲は南那珂山地をはじめとする山々と丘陵に囲まれ、その麓には台地及び河岸段丘が形成されています。これらの台地及び河岸段丘上では主に畑作が営まれていますが、遺跡詳細分布調査を実施したところ、縄文時代を中心とする多くの遺跡が発見されました。さらに近年は、農地の改良事業や各種開発事業に伴う発掘調査が頻繁に行われているところです。

ズクノ山第1遺跡の所在する鹿村野地区は田野町の北側でも宮崎市・清武町との境にあたる、清武川と黒北川の侵食によって形成されたシラス台地上にあります。集落はこの中央からやや南西側に集中し、他は畑作地で葉タバコや大根の栽培が盛んに行われています。

この鹿村野地区でも、平成 9 年度から県営畠地帯総合整備事業が実施されることになり事業の施工によって現状保存が困難な部分を、記録によって保存するための発掘調査が始まりました。同年度にズクノ山第2遺跡 A~C 地区、翌 10 年度にズクノ山第2遺跡 E 地



田野町内主要遺跡分布図

区と前野原第2遺跡、11年度にズクノ山第2遺跡F地区の現地調査を実施し、現地での作業を完了しています。いずれも宮崎県中部農林振興局からの受託事業と、所有者負担分を補う国庫補助事業により実施しました。

またこの他に、県営ふるさと農道緊急整備事業に伴うズクノ山第2遺跡D地区の調査も平成10年度に実施いたしました。これらの遺跡はいずれも縄文時代の早期を中心とするもので、多数の集石遺構などが検出されました。

今年度は、継続して実施されている県営畑地帯総合整備事業鹿村野地区の計画区域が、ズクノ山第1遺跡にかかっていたため、その保存について宮崎県中部農林振興局、宮崎県文化課、町農業整備課、町土地改良区と町教育委員会の間で、再三にわたり協議しました。協議の結果、遺跡の中心となる部分がどうしても工事の影響を受けざるをえないとのことで、やむをえず記録保存の措置をとることとなり、平成12年9月1日に調査に着手し、同年12月28日に現地における作業を完了しました。



調査開始前遠景



弥生時代住居跡調査状況

調査の体制

調査主体 宮崎県宮崎郡田野町教育委員会

調査組織 田野町教育委員会

教育長

堀内 健

社会教育課長

永谷 弘

社会教育課長補佐

川越 修司

社会教育係長

有村 勝弘

調査事務担当

同副主幹

坂本 かよ子

同主査

森田 浩史

調査担当

同主査

森田 浩史

同埋蔵文化財調査員

田鍬 美紀

室内作業補助

委託職員

青出木 明美

同上

永島 江理子

室内作業員

[Redacted]

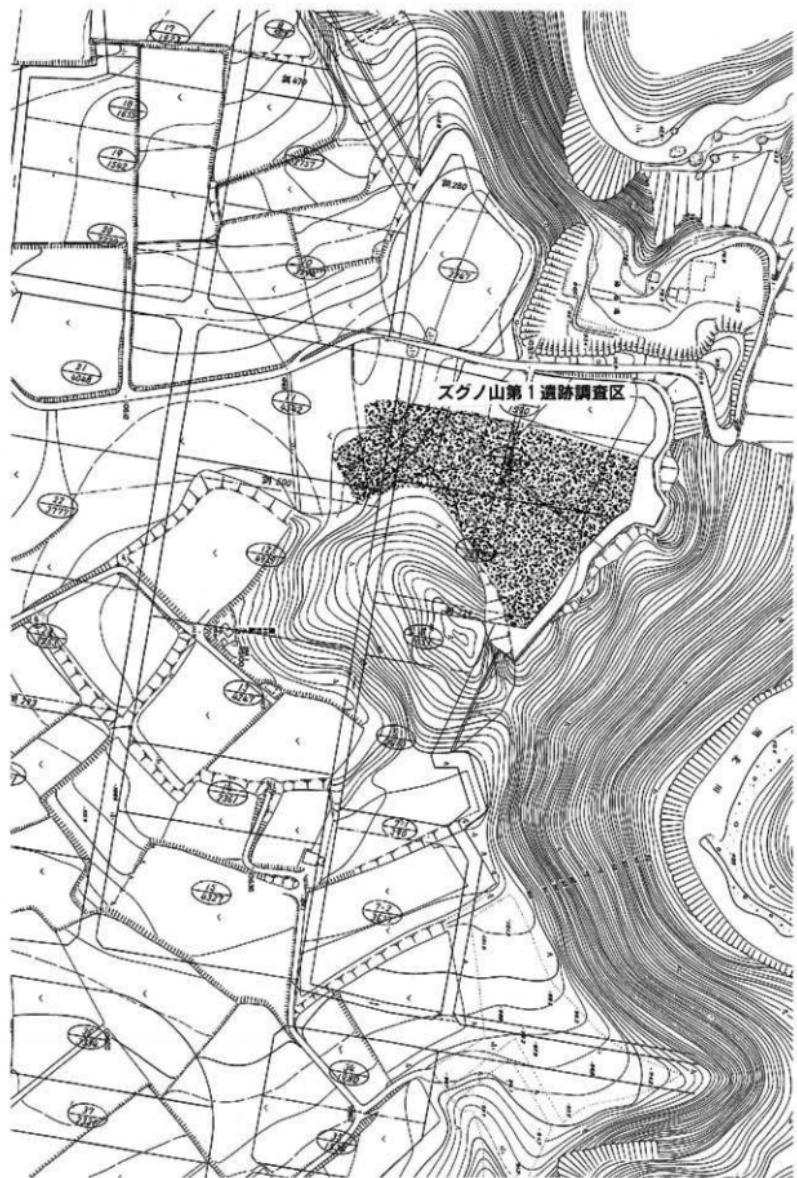
[Redacted]

調査支援業務（空中写真撮影・集石遺構実測）

株式会社埋蔵文化財サポートシステム

調査指導

宮崎県文化課



遺構と出土遺物

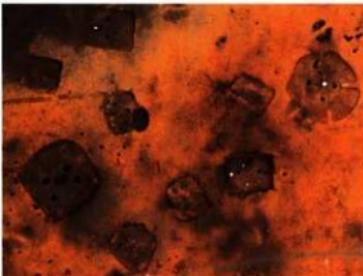
調査の対象となったのは、台地北端のごく緩やかな斜面で、前年度に調査したズクノ山第2遺跡F地区から谷を隔てた西側にあたります。この谷部及び台地先端はシラスの侵食が進行中であったため、調査期間中にも再三にわたり崩落がありました。また、この部分に限らず近隣各所で湧水地が見られます。

調査は事前に行われた試掘調査の結果を元に、縄文時代早期の遺物包含層と遺構検出を主な目的として進める予定でありましたが、耕作土を除去した時点で弥生時代の竪穴住居跡が検出され、まずアカホヤ上面における遺構検出作業を行うことになりました。

その結果、弥生時代の中期から後期にかけての竪穴住居跡が35軒と時期不明の掘立柱建物を含めた柱穴群や土坑などが検出されました。竪穴住居は大小の方形のものと、竪穴内に間仕切りが造られる日向型間仕切り住居といわれるものです。この間仕切り住居には円形や方形を基調とするもの、さらに間仕切りの場所や数など、それぞれ様々な特徴があります。中でも竪穴16は花弁状住居といわれるもので、外周にベット状の間仕切りを有しており、竪穴内からは土製の勾玉が出土しました。また、これより大型のものが竪穴10から、小型のものが竪穴29からも出土しています。これらの住居跡群は調査区の中央から北方にかけて集中して分布し、既に崩落した北へ続くことみられ、シラス台地の侵食によって当時の地形がかなりの変化を遂げていることを確認できました。

その他の柱穴群には弥生時代のものも含まれる可能性があるほか、平安時代の土器も耕作土中から採集されており、これから時代決定などの詳細な検証作業を行なう予定です。

縄文時代早期の調査は、主に試掘調査により遺物の出土が確認されていた東半分を対象に行い、集石遺構を20基検出したほか、押型文をはじめとする同期の土器や石器が出土しました。



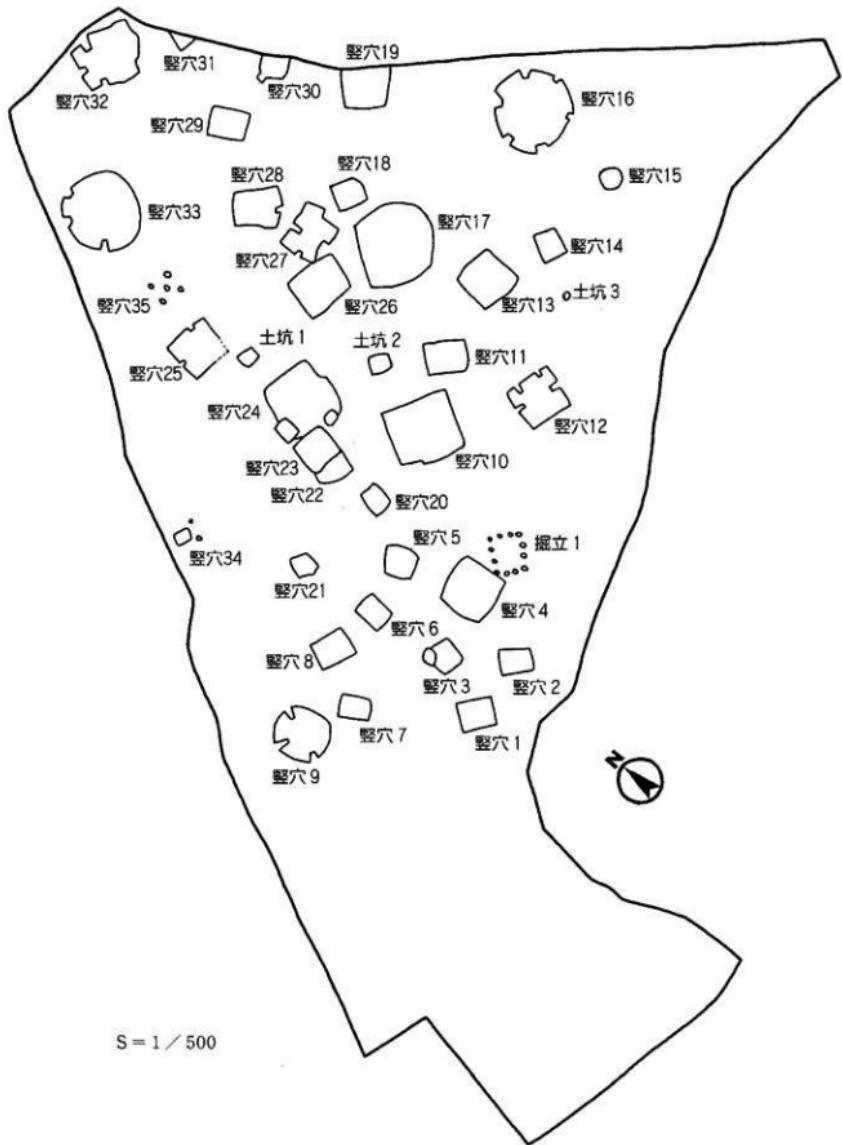
竪穴住居跡1～9検出状況



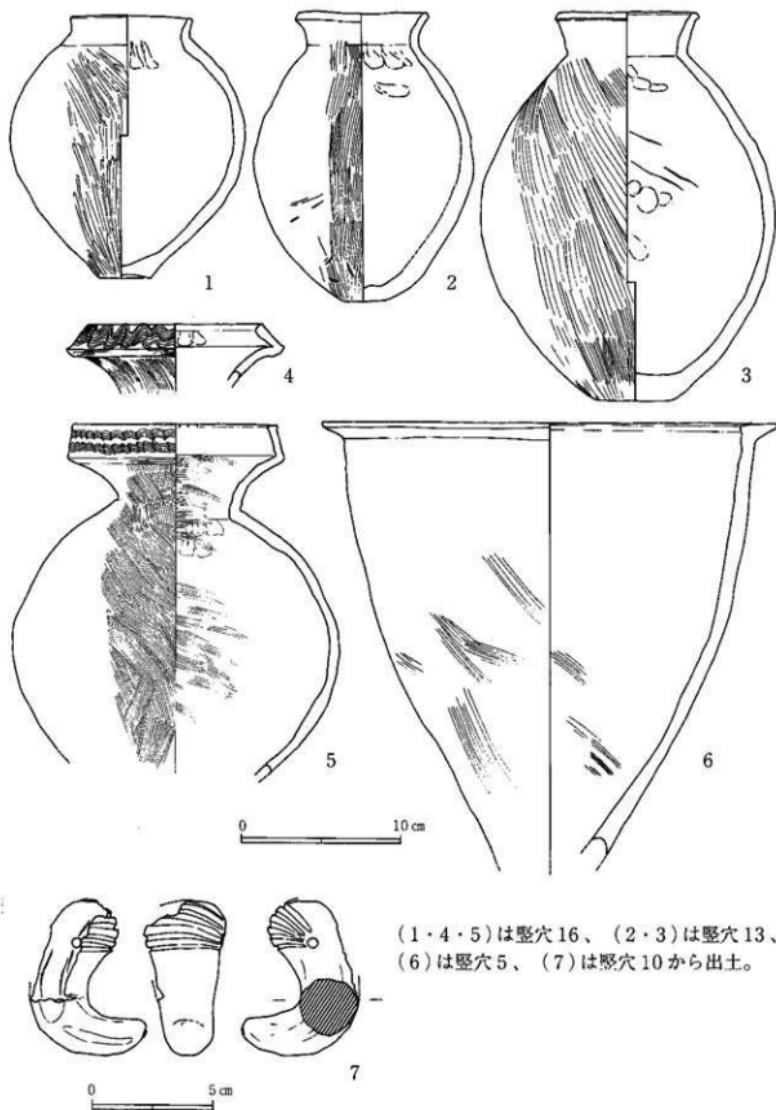
竪穴住居跡16(左手前)ほか検出状況



土製勾玉(左から)竪穴住居跡10・16・29出土



遺構分布概略図



弥生時代竪穴住居跡出土遺物実測図

おわりに

ズクノ山第1遺跡の調査にあたっては、現地作業員として鹿村野地区をはじめ町内から多数の参加をいただきました。また、地権者の皆様や関係者各位のご理解とご協力を賜りましたこと、ここに記して感謝申し上げます。

今後は調査によって発見された様々な資料を公開できるよう詳細に整理し、調査報告書の作成作業を進めてまいります。

尚、これらの資料は田野町教育委員会文化財調査事務所にて保管しております。また、当事務所では小規模ながら展示も行っておりますので、お気軽にお越しください。



文化財調査事務所へのアクセスなど（土・日は公開しておりません）

JR田野駅：徒歩約30分 田野役場前バス停：徒歩約25分 宮崎市内：車約35分

TEL: 0985-86-5160 (FAX兼) e-mail: morita@town.tano.miyanaki.jp